

ロータリーの未来は
あなたの手の中に


国際ロータリー第2530地区東北第一区
**福島南
ロータリークラブ**

事務局/福島南大平寺字通町5-2 2F・3F・4F 1F2階室 〒960-8151 tel.(024)546-3793 fax(024)546-7878
県会館/サンパレス福島 福島市上町4-30 〒960-8101 tel.(024)523-3811(代) fax.(024)523-0375
HPアドレス http://www.inaka.nc.jp/~southrotary/index.html

2009年-2010年RIテーマ


会長：林 克重 幹事：高橋 和之
会報委員長：小坂 和也 副委員長：藤橋 進一郎 委員：岸田 和美・金子 鏡岡・阿部 善行

第9 回例会 平成 21 年 9 月 2 日 (水) サンパレス福島
 ■メークアップ/28 名 ■修正率/100% ■会員/67 名 ■出席/39 名 ■出席率/58.21

本日のプログラム	7 幹事報告	
1 開会点鐘	8 地区社会奉仕委員会セミナー報告	
2 ロータリーソング (奉仕の理想)	9 会員スピーチ	
3 4つのテスト	10 各委員会報告	
4 来訪者紹介と会長挨拶	出席・スマイル・財団	
5 お客様スマイリング報告	11 閉会点鐘	
6 9月誕生者お祝い贈呈		

今月・来月のプログラム	9月16日(水) 福島成蹊高校 IAC 例会 16:00~
9月12日(土) R財団委員会セミナー 会津大学	9月23日(水) 法定休日(秋分の日)
9月16日(水) 渡邊英世東北第一分区分会パナー補佐訪問	9月27日(日) 福島南RCゴルフコンペ 民放コース
会員元気スピーチ 佐藤 誠会員	9月30日(水) 新会員歓迎合同夜間例会 18:00~

◆会長挨拶◆ 林 克重会長

 みなさんこんにちは。今月は新世代月間です。新世代月間は、私なりに調べてみました。
New Generations
 年齢30歳までの多様なニーズを意識しつつ、より良き未来を確かなものとすべく新世代の生活力を高めることにより、将来への準備をさせることである。
 すべてのクラブ、地区は新世代のためのプロジェクトに着手するよう奨励されている。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発、です。
 RI常設プログラムには、インターアクト、ロータリーアクト、青少年指導養成プログラム(RYLA)、青少年交換などがあります。
 青少年に対するロータリアンとして行動規範が手続要覧に1ページをさいて虐待やハラスメント防止、保護法厳守など厳しく書いてありました。
 この文書を読んで、ふと「ロータリー事始」(佐藤信元会員の書かれたガイドブック)を見返しました。
 「バッチは見ている」との表題に目をひかれました。

その中にバッチをつけるのは、ロータリアンの権利であると定款で規定されています。多くのロータリアンが、奉仕の機会として知り合いを広めるその誇りとしてバッチを付けているのであります。と書いてありました。
 後半部分に「バッチは見ている」表題の意味がありました。大原先生から教えられた事、バッチ着用し自分自身を戒めることすなわち自分自身の思想、行動を律するためにも重要な役割を果している。襟のバッチは、常に私の行動をもの言わず見ており監視している。信吉先生の思いを私たちは、受け継いでいきたいと思ひます。

◆本日のお客様◆

来賓者なし。

◆9月誕生者お祝い◆

お誕生日を迎えられた方本当におめでとうございます。世間では新型インフルエンザが流行しています。福島南ロータリークラブのメンバーは全員感染する事無く、たとえ罹患しても軽くすむよう自己の健康管理に日々気をつけて1年度の前半を締めくくりましょう。
 佐藤 雅弘会員(S29.9.25)



大野 順道会員(S26.9.8)
 阿部 喜行会員(S28.9.13)
 国井 元会員(22.9.15)



誕生日を祝っていただきまして有難うございます。同年62歳になります。また、福島南ロータリーに入会させていただきます9年目になります。これからもロータリー活動頑張っていきます。(国井 元会員)

誕生日お祝い有難うございます。いよいよ50歳になりましたが、会員諸先輩から見ればまだまだ鼻たらし小僧ですので、これからも宜しくお願いします。(大堀 義之会員)

◆幹事報告◆

- ①来週の例会後第4回理事会があります。
- ②21年9月4日~6日 日韓親善大使として韓国へ 大橋ガバナーエレクト 林会長 廣澤会員 黒羽会員

◆地区社会奉仕委員会セミナー◆

社会奉仕委員会 渡辺 勇 副委員長

2009年8月29日リステル猪苗代にて。

1. 本来ロータリークラブとは。
 I 奉仕の理念が、職業及び人生における成功を幸福の真の基礎であることを団体で学ぶ。II 自分たちの間でも、地域社会に対してもこの実際例を団体で示すこと。III 各ロータリアンがこの理論をその職業及び日常生活において実践に移すこと、そしてロータリアン以外の人々に普及させるよう努めること。
2. 基調講演 (猪苗代湖の水質課題 - 中村 玄正 先生 猪苗代湖への県の取り組み 一之瀬 秀一 主幹)
- III. 各委員会発表 (環境保全委員会・社会奉仕委員会・こども委員会・地域貢献支援委員会)



◆会員スピーチ◆

新世代委員長兼地区クラブ活性化支援・広報委員 佐久間 功 委員長

各ロータリアンの債務は、年齢30歳までの若い人を含む、いわゆる新世代の多様なニーズを認識しながら、よりよき未来を確かなものとするために、新世代の生活を高めることによって新世代に将来への準備をさせることにあります。そのために、全てのクラブと地区は、新世代の健康、人間の価値、教育、自己開発の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。

新世代委員会は、主に高校生で構成されているインターアクトクラブ、18歳~30歳までの就職あるいは就学している青年によって構成されるロータリーアクトクラブと地域の指導者育成を最終目標とするロータリー青少年指導者養成プログラムがあります。



2530地区には、13高校にインターアクトクラブが設置されており、当クラブは福島成蹊高校インターアクトクラブを支援指導を行なっています。部員は3年生を主に11名おります。主な活動として、施設訪問、街中清掃、あしなが募金活動、老人ホーム訪問清掃等の社会奉仕を毎月定期的に活動しています。

地区としては、インターアクト連絡協議会やインターアクト年次大会、インターアクトリーダー研修会、インターアクト国際理解研修を開催し、交流を図っています。

インターアクトクラブは、担任の先生の協力は勿論のこと、学校長の理解が不可欠です。いわきのある高校では、模範となる奉仕活動をした卒業生に、誉める賞いわゆる報償、インターアクト賞を学校側から授与しているそうです。少子高齢化はまったなしにきています。国の繁栄にも新世代の活躍なしには成り立ちません、経験豊かなロータリアンは、今こそインターアクトの育成に力を貸して頂きたいと存じます。

地区ライラ委員会 伊藤 弘子 委員

皆さんはライラ委員会を知ってますか?
 RYLA (ライラ) とは

ROTARY (ロータリー) YOUTH (ユース) LEADERSHIP (リーダーシップ) AWARDS (アワード) 日本語では『ロータリー青少年指導者養成プログラム』と訳されており14歳~30歳までの青少年男女を対象に、ロータリーが開発した集中研修プログラムです。(途中省略)

- ライラ研修会の目標は、
1. ロータリーが青少年を尊重しかつ青少年に関心を抱いていることを一層明らかにする。
 2. 選考した青少年指導者及びその素質のある人に実地訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年指導者となる方法を身につけるよう激励・援助する。
 3. 青少年による青少年への絶えざる、力強い指導を奨励
 4. 青少年指導者として地域社会に尽くしている、多数の青少年の優れた資質を公に表彰する

5月に参加させて頂いたライラ研修のグループディスカッションのテーマは『リーダーの資質』でした。
 このリーダーの資質を10通りの観点から分析し10グループにて発表されました。10通りの観点とは、決断力・実行力・企画力・統率力・行動力・問題開発力・問題解決力・段取り力・交渉力・指導力です。参加者は、与えられたことを吸収するだけでなく、自ら行動しこのセミナーに参加し学び体験したことを他に及ぼし、何かに寄与することで、他に生かされていくことに期待されています。



是非、皆さまの社会・地域社会において、将来指導者となる資質を持ち将来を担っていく、リーダーにふさわしい若い人々を発掘してライラ研修会に送り込んで下さい。織と役割についてわかりやすい情報提供に努めていきます。

◆スマイリングボックス◆

- ・今日も出席できました。皆様へ感謝。 林 克重会長
 - ・佐久間さん、伊藤さんのスピーチに感謝して。廣澤俊樹会員
 - ・9月の誕生会、プレゼント喜んでいただけただけでしょうか。(親睦委員会より 吉田 和義会員)
- その他多くの方々からのメッセージ頂戴しました。

スマイル 30,000円・財団・米山 31,000円
 ※お願い 41,000/回にご協力を!(スマイル)

◆座右の銘◆ 黒羽 好夫会員 『何とかなるさ』

いろいろ悩みや 苦しみや ささまざまな問題に直面しますが、最後には 『何とかなるさ』 と思って生きています。
 一編集後記一
 やっと2回目が完了。 “ホッと一息つくや” (柴田)